

2019年度 一般財団法人大竹財団事業報告書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

1. 理事会・評議員会

- 2019年 5月30日 第1回定時理事会を開催
2018年度事業報告書承認、2018年度計算書類等承認、公益目的支出計画実施報告書承認、定時評議員会招集について審議、可決。
- 6月21日 第1回定時評議員会を開催
2018年度事業報告および公益目的支出計画実施報告書の報告、2018年計算書類等承認、理事5名選任、監事3名選任を審議、可決。
- 6月21日 第2回理事会を開催
理事長及び常務理事選定を審議、可決。
- 2020年 3月15日 第3回理事会を開催
2019年度事業の実施状況について報告、および2020年度事業計画、2020年度収支予算を審議、可決。

2. 講演会・上映会<継1>

国内外の社会的諸問題について、先駆的な研究者や問題解決に取り組むNGOの活動家を講師として招聘し、講演会およびドキュメンタリー映画の上映会を10回開催しました。

- 2019年 4月25日 「Workers 被災地に起つ」上映会
会場： 大竹財団会議室
- 5月16日 「共犯者たち」上映会
会場： 大竹財団会議室
- 6月14日 「最後の一滴まで —ヨーロッパの隠された水戦争」上映会+トーク
講師：内田聖子氏（アジア太平洋資料センター（PARC）共同代表）
会場： 大竹財団会議室
- 7月18日 「ぼけますから、よろしくお願ひします。」上映会
会場： 大竹財団会議室

(財) 大竹財団

- 9月26日 「シリアの悲痛な叫び」 上映会
会場： 大竹財団会議室
- 10月29日 「奇跡の小学校の物語」 上映会
会場： 大竹財団会議室
- 11月21日 講演会「2040年問題を乗り越えることができるか ～医療を中心に考えてみよう」
講師：土田武史氏（早稲田大学名誉教授）
会場： 大竹財団会議室
- 12月12日 「プラスチック・チャイナ」 上映会
会場： 大竹財団会議室
- 2020年 1月30日 「お百姓さんになりたい」 上映会
会場： 大竹財団会議室
- 2月25日 「気候戦士 ～クライメート・ウォーリアーズ」 上映会
会場： 大竹財団会議室

3. 情報収集・調査取材活動 <継1>

研究機関、NPO・NGO等から発行される定期刊行物や発行資料の収集のほか、他団体が主催するシンポジウムやセミナーに参加し、社会的問題の現状および新しいトピックの把握などに努めました。

(1) 主な収集紙誌

『EPレポート』、『エネルギーフォーラム』、『週刊金曜日』、『消費者レポート』『難民を助ける会AARニュース』、『JATAN NEWS』、『反フッ素レター』、『フッ素研究』、など

(2) 2019年度に大竹財団が会員として登録した団体

(特活) APLA、(特活) 日本国際ボランティアセンター、(特活) アジア太平洋資料センター、(特活) 原子力資料情報室、(特活) 国際協力NGOセンター、(特活) 日本消費者連盟、(特活) ピースデポ、(特活) ダイオキシン環境ホルモン対策国民会議、食の安全・監視市民委員会、食品と暮らしの安全、全国公益法人協会、エネルギーフォーラム、エネルギー政策研究会

4. 助成金の給付 <継2>

社会的問題解決に取り組む市民団体または個人の活動に資金援助をおこなってきました。2019年度は選考により決定した12団体に対して総額544万円の助成金を給付しました。

2019年 8月13日	給付先： 特定非営利活動法人 SAPESI-Japan 目 的： モバイルライブラリープロジェクト 金 額： ￥500,000
8月13日	給付先： 平和の会 目 的： 平和を伝える絵画展及びお話の会開催 金 額： ￥140,000
8月13日	給付先： 一般社団法人 平和村ユナイテッド 目 的： 平和にユナイテッド！パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連帯 金 額： ￥500,000
8月13日	給付先： 公益財団法人 アジア保健研修所 目 的： AHI巡回報告会「スリランカの平和」 金 額： ￥500,000
8月13日	給付先： モザンビーク開発を考える市民の会 目 的： アフリカ開発における土地をめぐる紛争を乗り越えるための日本における啓発活動～第7回アフリカ開発会議（TICAD）をとらえる 金 額： ￥500,000
9月27日	給付先： 水銀に関する水俣条約推進ネットワーク 目 的： 「水銀に関する水俣条約」推進、国際キャンペーン 金 額： ￥500,000
10月10日	給付先： 特定非営利活動法人 シャプラニール 目 的： シャプラニール全国キャラバン 2019 金 額： ￥499,961
11月28日	給付先： 認定特定非営利活動法人 FoE Japan 目 的： 「オリンピック目前の3.11、福島第一原発事故をどう伝えていくか」国際シンポジウムの開催（東京・福島）とレポート作成 金 額： ￥500,000

(財) 大竹財団

11月28日	給付先： 公益財団法人 日本YWCA 日韓ユース・カンファレンス実行委員会 目 的： 日韓ユース・カンファレンス2019 ～ミソジニーと日韓#MeToo運動—東アジアの女性たちの連帯に向けて～ 金 額： ￥242,422
3月10日	給付先： 「移住者と連帯する全国フォーラム熊本2020」 現地実行委員会 目 的： 「移住者と連帯する全国フォーラム熊本2020」 金 額： ￥500,000
3月30日	給付先： 特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター (PARC) 目 的： 迫る気候危機がもたらすアジアの危機 —電気自動車と自然エネルギーがもたらす破壊 金 額： ￥500,000
3月30日	給付先： 特定非営利活動法人Environment NGO Kingfisher 目 的： 地球温暖化防止パネル展 金 額： ￥500,000
	合 計： ￥5,382,383

5. 出版・広報活動 <他1>

(1) 機関誌 (地球号の危機ニュースレター) 発行

『地球号の危機ニュースレター』は、大竹財団の機関誌として1977年6月の第1号発刊より2020年3月末までに478号を発行してきました。B5判、20ページの体裁で月1回、年12冊発行。環境・エネルギー問題を中心に様々な社会的問題をテーマに情報発信をおこなっていました。

(財) 大竹財団

年月日	番 号	部 数
19. 4.20	No.467 (5月号)	350
5.20	No.468 (6月号)	350
6.20	No.469 (7月号)	350
7.20	No.470 (8月号)	350
8.20	No.471 (9月号)	350
9.20	No.472 (10月号)	350
10.20	No.473 (11月号)	350
11.20	No.474 (12月号)	350
12.20	No.475 (1月号)	350
20. 1.20	No.476 (2月号)	350
2.20	No.477 (3月号)	350
3.20	No.478 (4月号)	350
合 計	12 号	4200

2019年度事業報告附属明細書

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2020年4月
一般財団法人大竹財団

【公益目的支出計画実施報告書】

【平成31年度(平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額		566,735,827 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(+ -)		83,345,774 円
	前事業年度末日の公益目的収支差額	70,983,397 円
	当該事業年度の公益目的支出の額	12,448,577 円
	当該事業年度の実施事業収入の額	86,200 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額		483,390,053 円
4. 2. の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 [※]		
<p>計画作成時点の見込みに比べ、当期の公益目的支出が622,177円上回り、実施事業収入が173,800円下回った。継2の助成金の支出が多かったことなどが主な要因である。なお、公益目的支出計画の実施期間があと42年間である一方、公益目的収支差額の計画額との差額は2,380,974円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。</p>		

注: 詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	・ 計画上の完了見込み	令和44年3月31日
	・ より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	566,735,827 円	566,735,827 円	566,735,827 円	566,735,827 円	566,735,827 円
公益目的収支差額	69,398,400 円	70,983,397 円	80,964,800 円	83,345,774 円	92,531,200 円
公益目的支出の額	11,826,400 円	11,404,430 円	11,826,400 円	12,448,577 円	11,826,400 円
実施事業収入の額	260,000 円	112,160 円	260,000 円	86,200 円	260,000 円
公益目的財産残額	497,337,427 円	495,752,430 円	485,771,027 円	483,390,053 円	474,204,627 円

前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

2019年度計算書類

(2019年4月1日～2020年3月31日)

- 貸借対照表
- 正味財産増減計算書
- 財務諸表に対する注記
- 附属明細書

一般財団法人 大竹財団

貸借対照表
2020年3月31日現在

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,804,654	13,365,415	▲560,761
前払費用	871,196	901,585	▲30,389
在庫出版物	806,400	806,400	0
流動資産合計	14,482,250	15,073,400	▲591,150
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	75,583,326	78,847,944	▲3,264,618
借地権	392,000,000	392,000,000	0
投資有価証券	109,440,000	109,440,000	0
基本財産合計	577,023,326	580,287,944	▲3,264,618
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	58,763,124	55,498,506	3,264,618
修繕引当資産	6,000,000	5,000,000	1,000,000
預り保証金引当資産	37,849,000	37,849,000	0
退職給付引当資産	3,674,588	3,300,994	373,594
特定資産合計	106,286,712	101,648,500	4,638,212
(3) その他固定資産			
建物附属設備	13,917,273	15,061,929	▲1,144,656
投資有価証券	11,000,000	11,000,000	0
出資金	2,000,000	2,000,000	0
差入保証金	2,854,780	2,854,780	0
その他の固定資産合計	29,772,053	30,916,709	▲1,144,656
固定資産合計	713,082,091	712,853,153	228,938
資産合計	727,564,341	727,926,553	▲362,212
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,018	298,711	▲293,693
未払費用	203,304	251,946	▲48,642
未払消費税	1,548,600	1,945,900	▲397,300
預り金	111,026	192,111	▲81,085
納税充当金	1,940,400	1,768,400	172,000
流動負債合計	3,808,348	4,457,068	▲648,720
2. 固定負債			
預り保証金	37,849,000	37,849,000	0
退職給付引当金	3,674,588	3,300,994	373,594
固定負債合計	41,523,588	41,149,994	373,594
負債合計	45,331,936	45,607,062	▲275,126
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	501,440,000	501,440,000	0
(うち基本財産への充当額)	(501,440,000)	(501,440,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	180,792,405	180,879,491	▲87,086
(うち基本財産への充当額)	(75,583,326)	(78,847,944)	▲(3,264,618)
(うち特定資産への充当額)	(64,763,124)	(60,498,506)	(4,264,618)
正味財産合計	682,232,405	682,319,491	▲87,086
負債及び正味財産合計	727,564,341	727,926,553	▲362,212

注) 実施事業資産はありません。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計指針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

在庫出版物・・・個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）によっている。

(3) 固定資産の減価償却方法

建物及び什器備品・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の経理処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

退職給付引当金の会計方針の変更

当期より「公益法人会計の運用指針について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）を適用している。

3. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	78,847,944	▲3,264,618		75,583,326
借地権	392,000,000			392,000,000
投資有価証券	109,440,000			109,440,000
小 計	580,287,944	▲3,264,618	0	577,023,326
特定資産				
減価償却引当資産	55,498,506	3,264,618		58,763,124
修繕引当資産	5,000,000	1,000,000		6,000,000
預り保証金引当資産	37,849,000			37,849,000
退職給付引当資産	3,300,994	373,594		3,674,588
小 計	101,648,500	4,638,212	0	106,286,712
合 計	681,936,444	1,373,594	0	683,310,038

4. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定充当額）	（うち一般充当額）	（うち負債対応額）
基本財産				
建物	75,583,326		75,583,326	
借地権	392,000,000	392,000,000		
投資有価証券	109,440,000	109,440,000	0	
小 計	577,023,326	501,440,000	75,583,326	0
特定資産				
減価償却引当資産	58,763,124		58,763,124	
修繕引当資産	6,000,000		6,000,000	
預り保証金引当資産	37,849,000			37,849,000
退職給付引当資産	3,674,588			3,674,588
小 計	106,286,712	0	64,763,124	41,523,588
合 計	683,310,038	501,440,000	140,346,450	41,523,588

5、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	134,346,450	▲58,763,124	75,583,326
建物付属設備	17,162,690	▲3,245,417	13,917,273
計	151,509,140	▲62,008,541	89,500,599

6、在庫出版物当期仕入原価の内訳

在庫出版物当期仕入原価の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首在庫出版物 ①	当 期 仕 入 額 ②	期末在庫出版物 ③	当期仕入原価 ①+②-③
資料制作費	806,400	2,364,942	806,400	2,364,942
計	806,400	2,364,942	806,400	2,364,942

7、満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的債券の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

銘 柄	帳簿価額	時価 (参考価格)	評価損益
ソフトバンク 第51回	2,000,000	1,837,800	▲162,200
ソフトバンク劣後債 第1回	2,000,000	1,848,000	▲152,000
大和証券グループ第27回	1,000,000	1,002,500	2,500
広島ガス 第12回	2,000,000	2,002,200	2,200
みずほFG第20回劣後債	2,000,000	1,960,200	▲39,800
戸田建設第4回	2,000,000	1,992,600	▲7,400
計	11,000,000	10,643,300	▲356,700

8、実施事業資産について

実施事業資産はありません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定財産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記3. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高に記載している。

2. 引当金の明細

退職給付引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,300,994	373,594			3,674,588

正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産受取配当金	(3,300,000)	(3,300,000)	(0)	
基本財産受取賃貸料	(40,830,353)	(40,383,983)	(446,370)	
特定資産受取利息	(25,496)	(20,175)	(5,321)	
講演会事業収益	(86,200)	(112,160)	(▲25,960)	
出版事業収益	(100,200)	(148,400)	(▲48,200)	
受取寄附金	(0)	(0)	(0)	
受取利息	(128,587)	(166,477)	(▲37,890)	
雑収益	(6,860)	(7,160)	(▲300)	
経常収益計	44,477,696	44,138,355	339,341	
(2) 経常費用				
① 事業費	35,292,081	33,722,185	1,569,896	
役員報酬	(2,256,744)	(2,772,144)	(▲515,400)	
給料手当	(5,796,000)	(5,647,280)	(148,720)	
退職給付費用	(298,874)	(267,458)	(31,416)	
福利厚生費	(714,833)	(870,046)	(▲155,213)	
調査研究費	(275,892)	(260,632)	(15,260)	
資料製作費	(2,431,650)	(2,423,652)	(7,998)	
講演会費	(479,258)	(759,193)	(▲279,935)	
助成金	(5,382,383)	(3,842,170)	(1,540,213)	
通信費	(229,349)	(227,500)	(1,849)	
交通費	(0)	(4,520)	(▲4,520)	
減価償却費	(4,409,274)	(4,409,274)	(0)	
地代家賃	(8,636,162)	(8,179,672)	(456,490)	借地代、家賃等
水道光熱費	(82,504)	(85,765)	(▲3,261)	
事務用品費	(51,604)	(81,703)	(▲30,099)	
図書費	(123,300)	(82,700)	(40,600)	
器具備品費	(0)	(0)	(0)	
会議費	(0)	(0)	(0)	
修繕費	(0)	(42,656)	(▲42,656)	
保険料	(35,843)	(35,843)	(0)	
租税公課	(3,904,600)	(3,560,700)	(343,900)	固定資産税、消費税等
雑費	(183,811)	(169,277)	(14,534)	
② 管理費	5,988,356	6,641,360	▲653,004	
役員報酬	(1,912,056)	(2,523,456)	(▲611,400)	
給料手当	(1,449,000)	(1,411,820)	(37,180)	
退職給付費用	(74,720)	(66,864)	(7,856)	
福利厚生費	(438,124)	(533,255)	(▲95,131)	
通信費	(61,446)	(50,435)	(11,011)	
交通費	(51,090)	(49,950)	(1,140)	
減価償却費	(0)	(0)	(0)	
地代家賃	(1,355,350)	(1,342,916)	(12,434)	
水道光熱費	(50,569)	(52,566)	(▲1,997)	
事務用品費	(31,628)	(50,075)	(▲18,447)	
図書費	(0)	(20,058)	(▲20,058)	
器具備品費	(23,980)	(17,496)	(6,484)	
会議費	(427,735)	(418,720)	(9,015)	会議謝金等
交際費	(0)	(0)	(0)	
雑費	(112,658)	(103,749)	(8,909)	
経常費用計	41,280,437	40,363,545	916,892	
評価損益等調整前当期経常増減額	3,197,259	3,774,810	▲577,551	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	3,197,259	3,774,810	▲577,551	

(財)大竹財団

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	3,197,259	3,774,810	▲577,551	
法人税、住民税及び事業税	3,284,345	3,102,732	181,613	
当期一般正味財産増減額	▲87,086	672,078	▲759,164	
一般正味財産期首残高	180,879,491	180,207,413	672,078	
一般正味財産期末残高	180,792,405	180,879,491	▲87,086	
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	501,440,000	501,440,000	0	
指定正味財産期末残高	501,440,000	501,440,000	0	
III. 正味財産期末残高	682,232,405	682,319,491	▲87,086	

正味財産増減計算書内訳表

2019年4月1日 から 2020年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計			その他会計			法人会計	内部取引控除	合計
	継1	継2	小計	他1	他2	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	40,830,353	40,830,353	3,300,000	0	44,130,353
基本財産受取配当金			0			0	3,300,000		3,300,000
基本財産受取賃貸料					40,830,353	40,830,353			40,830,353
特定資産運用益	0	0	0	0	17,595	17,595	7,901	0	25,496
特定資産受取利息			0		17,595	17,595	7,901		25,496
事業収益	86,200	0	86,200	100,200	0	100,200	0	0	186,400
講演会事業収益	86,200		86,200			0			86,200
出版事業収益			0	100,200		100,200			100,200
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0		0	0		0	0		0
雑収益	0	0	0	0	0	0	135,447	0	135,447
受取利息			0			0	128,587		128,587
雑収益			0			0	6,860		6,860
経常収益計	86,200	0	86,200	100,200	40,847,948	40,948,148	3,443,348	0	44,477,696
(2) 経常費用									
事業費	5,545,562	6,903,015	12,448,577	7,395,641	15,447,863	22,843,504		0	35,292,081
役員報酬	641,832	340,176	982,008	915,336	359,400	1,274,736			2,256,744
給料手当	2,898,000	724,500	3,622,500	2,173,500	0	2,173,500			5,796,000
退職給付費用	149,437	37,359	186,796	112,078	0	112,078			298,874
福利厚生費	230,591	92,237	322,828	322,828	69,177	392,005			714,833
調査研究費	246,600	0	246,600	29,292	0	29,292			275,892
資料製作費	0	0	0	2,431,650	0	2,431,650			2,431,650
講演会費	479,258	0	479,258	0	0	0			479,258
助成金	0	5,382,383	5,382,383	0	0	0			5,382,383
通信費	2,047	0	2,047	227,302	0	227,302			229,349
交通費	0	0	0	0	0	0			0
減価償却費	0	0	0	0	4,409,274	4,409,274			4,409,274
地代家賃	713,343	285,337	998,680	998,679	6,638,803	7,637,482			8,636,162
水道光熱費	26,614	10,646	37,260	37,260	7,984	45,244			82,504
事務用品費	16,646	6,659	23,305	23,305	4,994	28,299			51,604
図書費	81,900	0	81,900	41,400	0	41,400			123,300
器具備品費	0	0	0	0	0	0			0
会議費	0	0	0	0	0	0			0
修繕費	0	0	0	0	0	0			0
保険料	0	0	0	0	35,843	35,843			35,843
租税公課	0	0	0	0	3,904,600	3,904,600			3,904,600
雑費	59,294	23,718	83,012	83,011	17,788	100,799			183,811
管理費							5,988,356	0	5,988,356
役員報酬							1,912,056		1,912,056
給料手当							1,449,000		1,449,000
退職給付費用							74,720		74,720
福利厚生費							438,124		438,124
通信費							61,446		61,446
交通費							51,090		51,090
減価償却費							0		0
地代家賃							1,355,350		1,355,350
水道光熱費							50,569		50,569
事務用品費							31,628		31,628
図書費							0		0
器具備品費							23,980		23,980
会議費							427,735		427,735
交際費							0		0
租税公課							0		0
雑費							112,658		112,658
経常費用計	5,545,562	6,903,015	12,448,577	7,395,641	15,447,863	22,843,504	5,988,356	0	41,280,437
当期経常増減額	▲ 5,459,362	▲ 6,903,015	▲ 12,362,377	▲ 7,295,441	25,400,085	18,104,644	▲ 2,545,008	0	3,197,259
2. 経常外増減の部									
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額			0	7,295,441	▲ 23,400,085	▲ 16,104,644	16,104,644		0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 5,459,362	▲ 6,903,015	▲ 12,362,377	0	2,000,000	2,000,000	13,559,636	0	3,197,259
法人税、住民税及び事業税			0			0	3,284,345		3,284,345
当期一般正味財産増減額	▲ 5,459,362	▲ 6,903,015	▲ 12,362,377	0	2,000,000	2,000,000	10,275,291		▲ 87,086
一般正味財産期首残高	▲ 31,682,627	▲ 39,300,770	▲ 70,983,397	0	139,346,450	139,346,450	112,516,438		180,879,491
一般正味財産期末残高	▲ 37,141,989	▲ 46,203,785	▲ 83,345,774	0	141,346,450	141,346,450	122,791,729	0	180,792,405
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			0		392,000,000	392,000,000	109,440,000		501,440,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	392,000,000	392,000,000	109,440,000	0	501,440,000
III 正味財産期末残高	▲ 37,141,989	▲ 46,203,785	▲ 83,345,774	0	533,346,450	533,346,450	232,231,729	0	682,232,405

公益目定期支出計画
11,566,400

監査報告

2020年4月30日

一般財団法人大竹財団
理事長 大竹 春代 殿

監事 石渡 哲夫 
監事 大東 断 
監事 額賀 正己 

私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、並びに計算書類及びその附属明細書、公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上